

# お 知 ら せ

平成25年 7月10日  
国土交通省中部地方整備局  
入札監視委員会第二部会事務局

## 中部地方整備局入札監視委員会第二部会が第1回定例会議を開催 — 審 議 概 要 公 表 —

中部地方整備局入札監視委員会第二部会の平成25年度第1回定例会議を7月2日、中部地方整備局にて開催しました。

第二部会第1回定例会議では、発注工事等の中から抽出した5件の事案に係る一般競争の参加資格の設定等について審議を行いました。

入札監視委員会は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に基づき、地方整備局長の委嘱に基づき設置された学識経験者等で構成する第三者機関です。

当該委員会では、中立・公正な立場で客観的に入札及び契約手続きについて審議を行い、意見の具申又は勧告を行います。

以下、審議概要についてお知らせします。

### 1. 日時及び場所

日 時：平成25年7月2日（火）14時00分～16時00分

場 所：中部地方整備局 会議室

### 2. 審議概要

別紙のとおり

### 3. 配 布

中部地方整備局記者クラブ

名古屋港記者クラブ

港湾新聞

港湾空港タイムス

日本海事新聞

海事プレス

### 4. 問い合わせ先

中部地方整備局総務部

契約管理官 宮戸 実

電話 052-651-6263 (ダイヤルイン)

FAX 052-651-2770

別紙1

平成25年度 中部地方整備局 入札監視委員会第二部会

第1回定例会議 審議概要

開催日及び場所	平成25年7月2日(火) 中部地方整備局		
委員	[部会長] 矢野 和雄 (弁護士) 北野 利一 (大学院准教授) 横溝 大 (大学院教授)		
審議対象期間	平成25年1月1日～平成25年3月31日		
抽出案件数	総件数 5 件	審議案件は別紙1-2のとおり	
入札・契約方式	件数	工事名等	
工 事	一般競争入札 (政府調達適用)	1 件	別紙1-2のとおり
	一般競争入札 (政府調達適用外)	1 件	
	工事希望型競争入札	0 件	
	通常指名競争入札	0 件	
	随意契約	0 件	
建設コンサルタント業務等 一般競争入札	2 件		
建設コンサルタント業務等 簡易公募型プロポーザル	0 件		
役務の提供等及び物品の製造等 一般競争入札	1 件		
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回 答	
	別紙1-3のとおり	別紙1-3のとおり	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	意見の具申又は勧告はなし。		

別紙1-2 抽出案件一覧表

【工事】

(一般競争入札方式 : 政府調達に関する協定適用対象工事) 期間 平成25年1月1日～平成25年3月31日

工 事 名	工事種別	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
平成24年度 名古屋港外港地区防波堤(鍋田堤)改良 工事	港湾土木工事	6	6	2月27日	りんかい日産・不動テトラ 特定建設工事共同企業体	648,900	87.7	

(一般競争入札方式 : 政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの) 期間 平成25年1月1日～平成25年3月31日

工 事 名	工事種別	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
平成24年度 三河港防波堤(北)改良工事(その2)	港湾土木工事	3	3	3月15日	神野建設(株)	121,800	97.4	

【建設コンサルタント業務等】

(一般競争入札方式) 期間 平成25年1月1日～平成25年3月31日

業 務 名	業種区分	手続への参加資格 及び業務実施 上の条件を満た す参加表明書の 提出者数	技術提案書 の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
平成24年度 下田港防波堤効果検証業務	建設コンサルタント等	1	1	1月8日	(株) エコー	4,515	82.0	
平成24年度 四日市港道路(霞4号幹線)6工区防衝施設 設計検討業務	建設コンサルタント等	1	1	2月4日	ポートコンサルタント(株)	6,300	97.3	

【役務の提供等及び物品の製造等】

(一般競争入札方式) 期間 平成25年1月1日～平成25年3月31日

業 務 名	業務分類	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
平成24年度 中山水道航路保全カメラ補修箇所特定 調査	役務の提供等	1	1	3月21日	西日本電信電話(株)	6,899	99.2	

別紙1-3 委員からの意見・質問、それに対する回答等

1.報告事項についての審議概要		
報告事項		
項目	意見・質問	回答
①工事の入札方式別発注一覧 ②建設コンサルタント業務等の入札方式別発注一覧 ③役務及び物品の入札方式別発注一覧 ④指名停止措置等の運用状況 ⑤談合情報等 ⑥再度入札における一位不動状況 ⑦工事種別ごとの低入札価格調査対象工事の発生状況	なし	

2. 抽出案件の審議概要		
会議の審議対象案件は、当番の委員が入札契約方式別に事務所毎の審議実績及び地域性、事業種別毎を考慮したうえで無作為抽出したものである。		
抽出案件	意見・質問	回答
1. 一般競争入札(政府調達適用)		
平成24年度 名古屋港外港地区防波堤(鍋田堤)改良工事	落札者以外のすべての社が予定価格を上回った事について、どのような理由が考えられるか。	過去に例のない工事であるため、不確定要素を考慮して高めに応札したものと考えられます。
	過去に例のない工事であるが、競争参加資格要件として求めた同種工事はどのような考えで設定したのか。	本工事の様にケーソンの「中詰材の注入」と「改良」とを同時に施工した工事は過去にはほとんどないことから、同一工事ではなくても「ケーソンの中詰材の撤去または投入した工事」及び「セメント系固化材を添加・混合する土質改良」をおのの施工した実績があれば本工事が施工可能であると判断して同種工事の条件を設定しました。
	この工事で前例ができれば、次回同様の工事を発注した際には予定価格の範囲内の入札が増えるのか。	1ヶ月後に発注した同様の工事では、10社中6社が予定価格の範囲内での入札でした。
	過去に例のない工事であることから不確定要素があるという点について言えば2回目の工事についても変わりないと思うが、予定価格の枠に収まっている社が何社いる事についてどのように考えられるか。	公表されている積算内訳等を基に落札が見込める金額を算定して入札を行った社と、工事が完了して実績が出ていないために2件目でもまだ余裕をみた社があったのではないかと考えられます。
	本件は適正に処理された。	

2. 一般競争入札(政府調達適用外)

平成24年度 三河港防波堤(北)改良工事(その2)	応募者が3社と少ないのはどのような理由が考えられるか。	同種実績がある技術者が他の工事に従事していたために応募できなかったということが考えられます。
	3社のうち、2社が予定価格超過となっているが、どのような理由が考えられるか。	各社の対応可能な施工体制(作業船・従業者数等)から1日の施工能力を当局積算より少なく設定したのではないかと考えられます。
	三河港防波堤(北)改良工事は9社の入札参加者があるが、違いは何か。	三河港防波堤(北)改良工事の参加者はAランクであり、手配可能な重機・技術者等に違いがあったと考えられます。
	事前に調査して13社の参加可能業者があり競争性を確保できているとのことだが、競争性が確保できていると判断する基準はあるか。	1つの目安として、10社以上が参加できる要件を設定することで競争性を確保できていると考えていますが、さらに各工事内容等を考慮して要件の緩和等を行うこともあります。
	本件は適正に処理された。	

3. 一般競争入札(建設コンサルタント業務等)

平成24年度 下田港防波堤効果検証業務	応募者が1社しかなかったのはどのような理由が考えられるか。	震災後は技術者の手配が困難であること、本件の受注者は過去の同種案件を受注しており、他社は受注者が有利であると考えて敬遠したこと、年度末に近いことから手持ち業務の完了時期を控えていたことなどが可能性として考えられます。
	前回受注したときの実績があったので低い入札額となったのか。前回の実績を基に技術提案を行い、前回よりも技術評価点が低いのはどのような理由が考えられるか。	前回の実績を踏まえた入札額であると考えられます。技術評価については今回の提案に対する評価を行っておりますので、前回の点数と単純に比較はできません。
	本件は適正に処理された。	

4. 一般競争入札(建設コンサルタント業務等)

平成24年度 四日市 港道路(霞4号幹線)6 工区防衝施設設計検 討業務	入札参加者が1社となったのはどのような理由が考えられるか。	説明書のダウンロードは17社ありました。震災の影響や年度末までの履行期間が短いこと、また、大型補正予算の報道があり、技術者の手配が困難なため各社参加を見合わせた可能性が考えられます。
	入札参加者が少ないのは履行期間が短いことがネックなのか。	関係者調整により、結果的に履行期間が短くなったが、2ヶ月あれば可能と事前に確認しています。
	防衝設備の設計は通常、橋脚設計の中で行われると聞いたが、橋脚設計の同種実績としなくても良かったのか。	今回は防衝設備の設計に特化した。橋脚設計の出来る業者であれば防衝設備の設計は当然可能であり、防衝施設の設計を含む橋梁設計も同種実績とみなします。
	本件は適正に処理された。	

5. 一般競争入札(役務の提供等及び物品の製造等)

平成24年度 中山水 道航路保全カメラ補修 箇所特定調査	想定される業者は何社いたのか。	中部管内の施工カメラの製作・設置を行った業者のうち、本案件のカメラと同程度の仕様を満たす者を調べた結果、6社でした。
	設置を行った時の参加状況はどうだったのか。 修理の頻度と過去の修理の際の参加状況はどうだったか。	平成18年度に設置を行った時の参加者は6社でした。 平成21年度に修理を行っており、参加者は1社で今回と同じ事業者でした。
	落札率が高いのはどのような理由が考えられるか。	特殊な部品等があるため落札率が高くなったものと思われます。
	修理もこの業務で行うのか。	今回は、修理箇所の特定のみで、実際の修理は別件で発注します。
	本件は適正に処理された。	

6. その他

	なし	
--	----	--